後悔しないためのお墓選び

遺骨でダイヤモンド、オリジナル墓石、

「泣けるお」ココに

従来の縦長の墓石（写真右上）に代わり、最近は新規のお墓の多くが横長の洋風タイプに。「絆」など文字を刻む（下左）人も増え、ピアノ型（下右）やガラス製など個性派も。写真提供／日本石材産業協会

檀家からのお布施などで経営が成り立っているので、事務的にあっさり改葬を申し出るのではなく、今までの感謝を伝え、お金を少し包むなどの心遣いは必要です。

今まで管理費の支払いが滞っていた場合は、お寺からの請求がありますし、お墓を更地にする費用がかかることもお忘れなく」（寺田さん）

元の寺や霊園に了解を得る。③法的に改葬許可を取得する。④遺骨を取り出して新しい場所に納める。⑤元の墓を更地に戻す。

以上のように改葬は進められるが、元の寺と感情的にもめたりしてトラブル化することも少なくない。

「お寺は企業ではありません。

人気の樹木葬では夫婦が離れた場所に

現在、改葬、新規のお墓を建てる場所ともに人気なのは、生活圏内の霊園や樹木葬。維持管理費を支払えば永代使用ができる納骨堂や他人と同じ場所に納骨される永代供養墓だ。

永代供養墓は、年間維持費が不要なことが多く、後継ぎのない人にとっては好都合。

「流通大手のイオンは、昨年から3万円台～の、永代供養墓を販売。全国に12か所あり選択肢が広がっています」（吉川さん）

お墓選びが激変するなかで、増えたトラブルもある。

「〝子供に迷惑をかけたくない〟と、生前にお墓を購入する人が増えていますが、契約の確認不足や家族と相談していなかったがために、後々問題になることも少なくありません。

例えば、趣味のピアノをモチーフにしたお墓を建てても、お墓を継ぐ子供がピアノに興味がなければ、そこに入るのは抵抗がありますよね？

また、木の下に遺骨を埋葬する樹木葬にもトラブルが。霊園によっては、他人と同じ木の下に埋葬され、夫婦で契約しても離れた場所に埋葬されることもあります。遺骨の埋葬場所が具体的に特定できず、改葬しようにも取り出せないトラブルも起きています」（吉川さん）

デメリットも把握した上、家族とも相談し、後世に迷惑をかけずに旅立ちたいものだ。最近では遺骨の一部を手元に置く人も増えている。

「中村勘三郎さん（享年57）の妻、好江さん（54才）が遺骨をダイヤモンドのリングにして話題になりましたが、遺骨でつくるアクセサリーや、デザイン性のあるミニ骨壺が人気です」（吉川さん）

冒頭の『千の風になって』の作者・新井さんは、〝お墓〟とは生者と死者が対話する場と説く。埋葬しても遺骨を手元に置いたとしても、結局は残された者の慰めとなるからだ。

「私は先祖のお墓はもちろん、尊敬する偉人たちのお墓参りは26才から40年以上も続けています。自分の足で墓前に立ち、一礼してまぶたを閉じたら、死者への思い、近況を伝え、時には悩みを相談することもあります。死者と対話するうちに自分とも向き合っています」（新井さん）

お墓は誰のためのものか。真剣に考えることで本当に「泣けるお墓」は見つかるのかもしれない。

取材・文／西谷友里加　構成／松原正美

樹木葬

自然に還るイメージで最近人気だが、霊園によっては埋葬場所の指定ができない、遺骨を取り出せないなど、トラブルが増えている。

遺骨を手元に

遺骨を合成ダイヤモンドのペンダントに。0.2～1カラットから選べ（44万8000円～）、別途9万8000円でプラチナ仕様に加工。問アルゴダンザ・ジャパン ☎0120・253・940

格安の永代供養墓

流通大手のイオンから、3万5000円～（生前予約で葬儀と共に申し込めば3万円）のお墓が登場。屋内、屋外ともに選べる。問イオン ☎0120・394・394

「ありのままに」の先輩♪ 映画の名曲
愛は吐息のように●トム・クルーズ主演「トップガン」（1986年）でベルリンが歌った挿入歌。ケニー・ロギンスの「デンジャー・ゾーン」とともに大ヒット。1993年、ホンダ・インテグラのCMにも。